

令和元年度  
蒲郡市のまちづくりを考える  
団体アンケート  
調査結果報告書

令和元年 12 月

# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的.....	1
2 調査対象.....	1
3 調査期間.....	1
4 調査方法.....	1
5 回収状況.....	1
6 調査結果の整理方法.....	1
<b>II 調査結果</b> .....	<b>2</b>
(1) 今後の活動意向について.....	2
(2) 蒲郡市の現状について.....	8
(3) これからのまちづくりについて.....	14
(4) まちづくりへの自由提案などについて.....	21

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

本調査は、第五次蒲郡市総合計画の策定に向けて、市内で活躍される団体等を対象に、蒲郡市のまちづくりの課題や今後必要な取組みなどについての考えを把握することを目的として実施したものです。

### 2 調査対象

蒲郡市内の各種団体 197 団体を対象に実施しました。

### 3 調査期間

令和元年9月1日から9月24日

### 4 調査方法

郵送による配布・回収

### 5 回収状況

123 団体から回答を得ました。

### 6 調査結果の整理方法

本アンケートで寄せられた意見については、第四次蒲郡市総合計画の施策項目で内容を分類して整理しています。

## II 調査結果

### (1) 今後の活動意向について

問 貴団体において、蒲郡のまちを良くしていくために今後、取り組んでみたいことはありますか？

回答のあった123団体において、今後、取り組みたいことがあると回答したのは80団体となっています。

なお、取り組みたい内容をみると、主に「子育て」、「障がい者支援」、「地域コミュニティ」などに関する内容が多くなっています。

項目	件数
1 取り組みたいことがある	80
2 特にない	43
計	123

### 《今後、取り組みたい内容》

今後、取り組んでみたいこと	
<b>健康・福祉</b>	
<b>健康づくり</b>	
	多くの人がやってみたくなる体験会の実施
	市民の健康を守る体操
	ライフステージにおける食育推進のため、各世代における栄養調査実施
<b>子育て支援</b>	
	保育園、幼稚園、学校の先生と一緒に子どもの育ちについての勉強
	子育て中の親などに絵本の読み聞かせなどで絵本の楽しさを伝える
	市民にオレンジリボンを知ってもらう
	子育て世代の親子を対象にした話し合える会の開催
	子どもの貧困問題や、ひとり親家庭の子どもを対象にした子ども食堂の実施
	子どもは地域の宝という認識を持ち、子どもや若者、子育て世代が住みやすいまちづくり
<b>高齢者支援</b>	
	独居家庭の訪問支援
	60歳以上の元気な人でお助け隊を発足し、庭の草刈り、蛍光灯の取替え、ボランティア活動などの実施
	高齢者の居場所づくり
	おやじの会などの男性活動団体の創立
	介護施設へのお話会（読み聞かせ、紙芝居）
<b>障がい者支援</b>	
	障がいに関する啓発
	障がい者を理解していくためのバリアフリー映画会の再開
	ハンディキャップセーラーの育成および海の共生社会づくり
	発達障がい児を持つ親が気軽に相談できる場所、ささゆりの会が月に1度常駐する場所を作る
	精神障がい者との里山歩き等のレクリエーション
	手話言語条例制定に伴う手話の周知イベントの開催
	ユニバーサルマインド講座、実践編の開催
<b>産業</b>	
<b>農林業</b>	
	農産物の新たな付加価値化、農業従事者の確保・育成、農福連携活動、食農教育活動の実施
	地域における農地の状況や利用意向の把握、地域での農地利用の話し合いの場づくり
<b>水産業</b>	
	漁業の活性化と漁業従事者の確保

今後、取り組んでみたいこと	
<b>観光</b>	
	手筒花火の再開（夏の花火大会の前座で、市内各町の手筒花火の実施）
	蒲郡で開催されるイベント（トライアスロン、蒲郡祭り、マラソン等）へのボランティア参加。
	市民から観光についての積極的な意見、提案を吸い上げる会の立ち上げ
	日本人観光客（宿泊客）の減少の食い止め、及び増加に向けた取り組み
<b>都市基盤・安全</b>	
<b>公共交通</b>	
	三谷地域コミュニティバス協議会の立ち上げ
<b>市街地整備</b>	
	北駅前前の活性化、子どもや高齢者の居場所づくり、駅近くの自転車店とコラボしたレンタサイクル 空き家対策
<b>消防・救急</b>	
	住民が加入したくなる魅力ある消防団の実現
<b>防災</b>	
	各種団体での防災リーダー研修会の実施、学校防災活動への参加
	地震に対する区民の啓蒙
	自主防災会の運営と届出避難所の受入れ体制の構築
<b>防犯</b>	
	インターネットやSNSなどから児童、生徒を守るための指導、出前講座の実施
<b>環境・生活基盤</b>	
<b>自然保護・緑化</b>	
	桜守活動会員の補充、育成
<b>環境保全</b>	
	町内でのごみゼロ週間に対する住民の理解と協力
<b>循環型社会形成</b>	
	ごみの減量化、ごみステーションでの立番制度の充実
<b>教育・文化</b>	
<b>学校教育</b>	
	子ども達に蒲郡の山に登ってもらう機会づくり
	選べる公共教育として、学校によって特化した芸術、自然、農業、フリースクールなどの実施
	教師の働き方改革の断行
<b>生涯学習</b>	
	小学生・中学生向け、理系進路選択支援の出前授業の実施
	文化クラブ、スポーツクラブの創設
	各地域での輪踊り、盆踊りの継続
<b>文化・芸術</b>	
	地域の祭礼・行事等への若い世代の参加促進
	町内文化財の調査のため、文化財調査委員会の設置
<b>スポーツ</b>	
	指導者の養成に向けた資格取得、研修等の実施
	屋外運動施設の総合整備及び有料化
	子どもの養育環境として市民プールの復活
	三世代スポーツ、障がい者スポーツの推進
<b>協働・行財政運営</b>	
<b>市民協働</b>	
	行政と市民との対話・情報交換の場づくり
	障がい者の立場から市内の道路や施設へのアドバイス
<b>地域コミュニティ</b>	
	地域における居場所づくり及び継続した話し合いの場づくり
	地区全体でのふれあい活動、行事
	地区での文化交流会、サロン、清掃ボランティア活動の実施
	隣近所での交流

今後、取り組んでみたいこと	
<b>男女共同参画</b>	
	男女共同参画プランの策定への協力
<b>多文化共生</b>	
	外国人世帯への区への加入・参加促進（参加パンフレットの作成）
	蒲郡市に住む外国人（フィリピン人）の受入れのため、市民向けのフィリピン語講座の実施
	町内会役員における女性の登用の推進

問 貴団体において、蒲郡のまちを良くしていくために、市と協働で取り組んでみたいことはありますか？

回答のあった 123 団体において、市と協働で取り組みたいことがあると回答したのは 67 団体となっています。

なお、取り組みたい内容をみると、主に「子育て支援」、「観光」、「防災」、「学校教育」などに関する内容が多くなっています。

項目	件数
1 取り組みたいことがある	67
2 特にない	56
計	123

### 《協働で取り組みたい内容》

市と協働で取り組みたいこと	
<b>健康・福祉</b>	
<b>健康づくり</b>	
	「健康づくりのつどい」「ひとねる祭」などを協力して実施 関係各課との連携強化
<b>子育て支援</b>	
	若い人の積極的なボランティア活動への参加 市のイベントでの絵本の紹介やおはなし会、手作りグッズなどの紹介 子育て相談窓口等の1本化 地区の子ども会が他の団体と交流する、異世代交流の機会の提供 行政、社協、保健センター、民生委員、地域が協働で、子ども食堂の実施 地域ふれあい活動、子ども会活動の充実 子どもや若者が楽しめる事業の実施
<b>高齢者支援</b>	
	高齢者の居場所づくり 各町内での高齢者支援団体の設立 総代、民生委員などの地域役員の意識向上に向けた公民館単位での研修の実施
<b>障がい者支援</b>	
	子ども達、高齢者、障害を持つ当事者が一緒になってユニバーサルマインド育成 小中学校での福祉体験・学習の実施（外国人の子どもにも手話の学びは有効） ギャンブル依存防止 障がい者デイサービス事業
<b>産業</b>	
<b>農林業</b>	
	小規模基盤整備の実施。農業従事者の確保に向け、高齢者の活躍の場として農作業の実施 最終処分場（大塚）跡地を駐車場として利用し、金野インター南側に地元出資による道の駅の整備。 災害時には大規模避難所として利用。周辺の田畑をほ場整備して栽培と販売の一本化を実現
<b>新産業</b>	
	衛星以外での産学官での連携事業、IoTを活用したスマートシティづくり
<b>観光</b>	
	蒲郡市は海と山の風光明媚なまちとして、国道23号から景色を眺められる休憩場所の整備 五井山にバイオトイレ設置、NTT鉄柵の撤去、山歩きセンター（駐車場有り）の設置 蒲郡祭、三谷祭などで高齢者や障がい者が安心して見物できるツアーの実施
<b>都市基盤・安全</b>	
<b>道路</b>	
	大塚金野線などの道路を生かしたまちづくり

市と協働で取り組んでみたいこと	
<b>公共交通</b>	高齢者用のコミュニティバスの運行
<b>市街地整備</b>	北駅前活性化に向けて子どもや高齢者の居場所づくり、駅近くの自転車店とコラボのレンタサイクルの実施 年々増加する空き家の情報を共有化して対策を検討
<b>消防・救急</b>	消防団を取り巻く環境整備
<b>防災</b>	市防災体制と自治会防災体制との連携強化 障がい者向けの災害時の対応（避難所生活支援）・避難訓練を作業所とも連携して実施 大地震などの災害時の福祉避難所への支援 地震に対する区民の啓蒙
<b>防犯</b>	防犯カメラの増設 空き巣対策、子どもの見守りに向けた市内パトロールの充実
<b>交通安全</b>	地区内の狭い道路での通過交通の抑制
<b>環境・生活基盤</b>	
<b>公園・緑地</b>	神倉公園の整備・改善（ベンチの取りかえ、小型遊具の設置）
<b>自然保護・緑化</b>	市民と一緒に蒲郡の自然を保護する活動や、環境学習、防災学習の実施
<b>環境保全</b>	観光都市蒲郡として、行政と住民が一緒になってゴミのないまちづくり活動の推進 多くの市内事業所が「ごみ散乱防止宣言事業所」としての活動の展開 道路、排水溝、公園の清掃活動の実施
<b>教育・文化</b>	
<b>学校教育</b>	教師が働きやすいまちづくり 蒲郡南部小で取り組んでいるような地域を巻き込んだ畑づくりやCaféなどの居場所づくりの取り組み 自分で考え行動ができる人を育成できる学校教育 不登校の児童・生徒の学習支援 小中学校の再編成
<b>生涯学習</b>	下校後や休日に子どもたちが使え、大人も出入りできる地域運営の学校図書館 みかんの木で作ったコカリナの普及と制作ワークショップの実施
<b>文化・芸術</b>	地元郷土史の再認識 地域の祭礼や行事への若い世代の参加促進
<b>スポーツ</b>	総合型地域スポーツクラブの設立 屋外運動施設の整備及び有料化
<b>協働・行財政運営</b>	
<b>市民協働</b>	様々なボランティア活動をまとめ、どんな内容の活動をしているかの見える化 保育園から大人までの多くの市民が関わることができる市民総参加イベントの実施 障がい者の立場から市内の道路及び施設および市の建物などへのアドバイスの実施
<b>地域コミュニティ</b>	町内加入者の勧誘活動、専任事務員の設置による自治会の運営強化 地域における居場所づくり、話し合いの場づくりの充実 市外の団体との交流



市と協働で取り組んでみたいこと

**男女共同参画**

地域役員への女性の登用の促進  
市内の女性を横につなぐ組織の設立

**多文化共生**

外国人世帯への区への加入や参加の促進  
外国人居住者が区に参加してもらうための参加パンフレットの作成  
外国人労働者向けの日本語教室の実施に向け、国際交流協会の日本語教室のボランティア以外のボランティアにも協力要請

**広報・広聴**

地元の学生を使った意見交換の実施  
市民活動と行政の双方の情報交換と相互理解

## (2) 蒲郡市の現状について

問 蒲郡市のまちの良いところ（魅力、特徴など）はどのようなところだと思いますか？

良いところ（魅力、特徴など）について 114 団体から回答がありました。

その内容は主に「観光」、「公共交通」、「自然保護・緑地」などに関する内容が多くなっています。

### 《蒲郡のまちの良いところ》

まちの良いところ(魅力、特徴など)	
<b>健康・福祉</b>	
<b>健康づくり</b>	市民の健康を大切にする取り組み
<b>子育て支援</b>	0歳からの子どもの抛り所が各地域に整っている 子育ての環境が整っている（保育園、児童館、児童クラブ、障がい児支援） 待機児童が無いこと
<b>障がい者支援</b>	車椅子生活者として、地元の学校に通うことができ、友人も多く作ることができるまち。蒲郡駅など公共施設、商店街でも受入れを工夫している
<b>産業</b>	
<b>農林業</b>	みかんの産地として、施設栽培が盛んで、ブランドとなっている
<b>水産業</b>	海、山の幸が豊富 食べ物が美味しい
<b>工業</b>	産業として、ロープ、織物、鉄鋼等がある
<b>商業・サービス業</b>	ほどよい田舎で、生活用品を買う大きなスーパーも身近に多くある 名物料理がある 食べ物が安価でおいしいこと
<b>観光</b>	
	海、山、島、レジャー施設（ラグーナ、水族館、ボートレース場）、温泉郷 海と山に囲まれた風光明媚で温暖な観光地 JRの沿線で、東名高速道路のICも近く、アクセスの便がよい観光地 観光名所が多くある 市民の人柄の良さ 三尺花火 ヨットハーバー、ラグーナ等の娯楽施設 海水浴や潮干狩りなどが楽しめる 魚、みかんなどの特産品もあり、“蒲郡”と言うだけで他の市町村の方がわかってくれる 寝釈迦がブルーブリッジから見られる
<b>競艇</b>	ボートレース場
<b>都市基盤・安全</b>	
<b>道路</b>	蒲郡駅から竹島水族館までの歩道がきれいになったところ 渋滞がない
<b>公共交通</b>	JR駅が4つあり、蒲郡駅は特別快速も停車し、名古屋駅まで40分で行ける

まちの良いところ(魅力、特徴など)	
	住みやすく、通勤・通学にも便利
	公共交通機関も充実しており、アクセス道路も徐々に良くなってきている
	J R、名鉄、高速道路、港など、交通の便がよい
住宅	
	高層建築も多くなり、海と山を感じられる生活できる場所
防災	
	自然災害も少なく住みやすい、穏やかなまち
	災害に強い地形（扇状地など）で、立地的にも一番安全な位置にある
防犯	
	大きな犯罪が他市に比べ発生が少なく、人間性も穏やか
	事件が無く、治安が良い
環境・生活基盤	
公園・緑地	
	公園が多い
自然保護・緑化	
	海と山の美しい景観をつくっている
	海と山、自然豊かなところ
	海、山、温泉が近くにあり、暮らしやすい
	海と空が美しく、気候が温暖で住みやすい
	海と山の魅力を持ち合わせたコンパクトシティ
	夏涼しく、冬暖かい
	のんびりで穏やか。風光明媚
	風光明媚なところ
教育・文化	
文化・芸術	
	伝統、文化が素晴らしいところ
	地域の歴史や伝統（祭り・行事）を守ろうとする強い絆
	自然、歴史、文化が適度にバランスよく存在している
スポーツ	
	ヨットなどマリンスポーツの適地
協働・行財政運営	
地域コミュニティ	
	近隣の付き合いが良い
	人柄の良い人が多い
	のどかで人間関係が温かい
広域行政	
	蒲郡は交通の便も良く、市内だけではなく、広域な企画にすれば蒲郡の存在感が増す
その他	
	人口8万人、東西60分以内の移動が可能なコンパクトな住みやすいまち
	新しいことにチャレンジする人を応援してくれるまち

問 蒲郡市のまちの物足りないところ（課題、問題点など）はどのようなところだと思いますか？

物足りないところ（課題、問題点など）について 114 団体から回答がありました。  
その内容は主に「工業」、「商業」、「観光」、「公共交通」、「生涯学習」などに関する内容が多くなっています。

《蒲郡のまちの物足りないところ》

まちの物足りないところ(課題、問題点など)	
<b>健康・福祉</b>	
<b>子育て支援</b>	子どもたちが半日楽しく体を使って遊べる場がない 市民プールがない。図書館が古い
<b>高齢者支援</b>	遊びながらストレッチができるような老人向けの公園がほしい 介護施設が分散している 高齢者の居場所づくりが必要
<b>その他</b>	福祉と健康に力を入れてほしい
<b>産業</b>	
<b>工業</b>	
	商工会議所会員の活性化意識の向上 将来に向けた発展産業がない 繊維、ロープ、漁業、ミカンなどの産業が衰退している 大手企業がないため、若者の雇用は少なく、他地区に出て行ってしまう 遊休農地や荒れた山林などを活用して、企業誘致による雇用の創出が必要 活力、活性化のあるまちづくりが必要
<b>商業</b>	
	学生のまちとなるような商店街づくり（蒲郡駅に高校生や大学生が楽しみ集まれる場所づくり） 映画館、ボウリング場などの娯楽施設がない。 蒲郡駅の北側がさびれている 商業施設が点在している。人が集まるような工夫が必要 薬屋さんばかりで飲食店が少ない。チェーン店でなく、もっと特色なある店が必要 かつての商店街がさびれ、活気が無いところ 買い物が市外に取られているため、もっと市内でお金を回していけるような新しい何かを考える必要がある
<b>観光</b>	
	中途半端で、これと言ったものが見当たらない。長い時間過ごす目玉が見当たらない サイクリングロードを海に作ったら人気も出て、これにあわせて飲食店も出店する 競艇場の駐車場を利用して、シャトルバスの巡回による蒲郡市内巡り等 竹島地域の開発（竹島園地、ヘルスセンター、ベイパーク） 観光のまちでありながら、外国人向けの案内、聴覚障がい者向けサービス、駐車場などが不足 観光素材が点在しており、車以外で来られた方の2次交通が弱い 音楽のまちとして、街中に音楽を感じない。また、観光のまちとしてオリジナルのお土産が少ない ラグーナの規模が中途半端。海も山も利用したビッグなテーマパークに 蒲郡の良さ（産業を含む）を伝えることのできる施設がない 外への発信力の弱さ。例えば花火、三尺玉は、太平洋岸で蒲郡市しかないと言われているが、名古屋市民はほとんど知らない 良質な「みかん」などの農産物が、蒲郡の特産品としてのイメージが広まっていないなど、全国から認知されることを目指した取り組みが感じられない 蒲郡のまちをアピールするような市をあげてのイベントが少ない。

まちの物足りないところ(課題、問題点など)	
<b>競艇</b>	
	モーターボートの収入に頼りすぎて、その割に投入資金が大きくなっている
<b>雇用</b>	
	働く場が少なく、働く世代が定住しにくい
	若い人達の働く場所を確保し、若者がまちを出なくてもよい環境にする必要がある
	蒲郡を出て行った人が戻らないこと
	労働の集結、仕事場の充実感。若者の就労するところが少ない
	子育て中の両親が長時間働かなくても良いような社会の雰囲気づくり
<b>都市基盤・安全</b>	
<b>道路</b>	
	国道 23 号バイパスの早期開通
	主要道路などは雑草が茂っているため、除草した方が良い
<b>公共交通</b>	
	市内交通機関が無いため、コミュニティバスの発展に期待したい
	市の中心部に行くのに交通の便が悪すぎる。高齢者が外に出やすい交通環境の整備が必要
	鉄道(駅)からの移動交通手段が乏しい
	保健センター、図書館など、生活の中で活用する施設までのコミュニティバスが必要
	車に依存しすぎて、近くに行くにも車で、歩く人が少ない
	自動車免許を返納するにも市内の公共交通、移動手段が心配
<b>市街地整備</b>	
	西方面の発達が遅れている
	蒲郡駅北側が寂しく、活気がないため、賑やかさがほしい
	駅南側は綺麗にはなったが、もう少し先まで整備してほしい
	観光のまちであれば、駅に降り立ったとき、わくわく感が必要
<b>住宅</b>	
	若者が集まる市営住宅が不足しており、公共施設管理計画(小中一貫)により、余剰地に若者向け市営住宅を建てる
	土地(宅地)の供給量が少なく、地価が高すぎて、若者が新居を建てられない
	先祖の土地を手放さないため、土地が供給されない
	住居購入の支援が必要
<b>都市景観</b>	
	景観行政の取り組みが遅い
<b>防災</b>	
	防災のように予め備えるなどの成果の見えないものに対する取り組みが弱い
	防災などに対する若い女性の意識が低く、防災会などの組織に女性の参加がない
	災害に強いまちづくりや減災への取り組みが弱い
	防災の横のつながりが希薄
<b>防犯</b>	
	世間で凶悪な事件が発生しても他人事で、「蒲郡は大丈夫だ」と根拠もなく結論づけてしまうこと
	空き家が多く、防犯の危険個所も多い
<b>交通安全</b>	
	駅前の郵便局前の信号がわかりづらい
<b>環境・生活基盤</b>	
<b>公園・緑地</b>	
	市民の憩いの場所が少ない
<b>自然保護・緑化</b>	
	美しい自然が生かされていない。山も海も川も公園も道路も汚い。
	蒲郡の自然や眺望は全国的に見ても素晴らしいが、このことに市民が自信を持ってほしい
	温暖な気候、新鮮な海産物などをアピールできていない
	市域の約 1/3 を占める山林が生かされていない
	花の植えているところが少ない

まちの物足りないところ(課題、問題点など)	
<b>教育・文化</b>	
<b>学校教育</b>	
	市内小中学校の全教室へのエアコン設置、運用が遅い 子育てから学校教育への一連とした教育環境の構築
<b>生涯学習</b>	
	市民の学習意欲の向上（市民は地道な学習を嫌うこと） 青少年育成のための研修宿泊施設の整備 図書館などの公共施設の充実（駅近くに移転） 市民体育館などの整備 福祉会館の駐車場がいつも満車で停めるのが大変
<b>文化・芸術</b>	
	全国トップレベルであった音楽のまちが、現状まで落ちたことが問題点 文化的な催し物が少ない 文化施設が貧弱で、まとまりがない
<b>スポーツ</b>	
	市民会館、体育センター(体育館)、室内・室外プールの新築、改築
<b>協働・行財政運営</b>	
<b>市民協働</b>	
	蒲郡人の気質として、横並び意識が強く、社会活動に消極的 地域のための動きたいと思っているボランティアの活躍の場を増やす 市民も行政も将来についての危機感が少なく、課題解決に行政や他者に依存する傾向が強い 市民に活動への参加をもっと呼びかけるべき
<b>地域コミュニティ</b>	
	地域住民がもっと交流して、話し合うことが重要（老人と若者との断絶が問題） 施設の使い方の悪さ 施設の充実
<b>男女共同参画</b>	
	女性の活躍する場が不足 男女平等と言いながら、依然として男性主導の社会
<b>多文化共生</b>	
	市民は他地域の人や外国の人を受け入れるのに時間がかかる
<b>広報・広聴</b>	
	PRの仕方、伝え方の改善 蒲郡市公式キャラクター（ハートムくん）の変更希望。おしりを連想させる 市のイベント間の連携が十分取れておらず、同じ日に重なっていたり、周知が不十分で、市民が知らないこともある まちづくりの連携が少なく、施設間の相乗効果が見られないことが多い
<b>行政</b>	
	施策で日本一を目指さないこと 他市でやっていないこと、新しいことに取り組む姿勢がない 行政からの将来構想が見えてこない 総合計画などの中長期的な計画の見直しや評価に市民の声を反映していないこと 高齢・障がい・子育て・生活困窮の縦割り行政を解消しようと「包括」という言葉で進めているが、それに挑戦する取り組みが極めて限定的 行政主体のまちづくりが進んだことで、市民も職員も自発的に物事を考えることなく静観し、何を言っても、何をしても変わらないとあきらめている人が多い 市議会議員の数が多く 保守的で、従来どおり暮らしていけば良いと考え、組織を変えるようとするエネルギーに欠ける
<b>財政</b>	
	立派な建築物が多すぎる蒲郡市に見合った物を作るべき お金がない、高齢化が進んでいることを強調して、市民サービスの低下、効率化を目指しすぎ。もっと補助金等の活用をするべき。
<b>その他</b>	
	蒲郡市全体に活気がない。子ども、若者が少なく、活気が足りず、生き生き感が少ない

まちの物足りないところ(課題、問題点など)	
	若い世代が市外へ流出してしまい、若い世代の人口が少ない
	新しいものに無関心で、新しいことも受け入れない
	色々な面で恵まれているため、危機感が足りない
	お宝が足元に眠っているのに、放置したままで、気付けていない
	市民のまちに対する愛着と誇りが乏しい

### (3) これからのまちづくりについて

問 多くの人に「住みたい」と思ってもらえるような蒲郡市にするために、市ではどのような取り組み（事業など）が必要だと思いますか？

住みたいと思ってもらえるようにするための取り組み（事業）のアイデアについて112団体から回答がありました。

その内容は主に「子育て支援」、「工業」、「公共交通」などに関する内容が多くなっています。

#### 《多くの人に「住みたい」と思われるための取り組み》

多くの人に「住みたい」と思われるための取り組み	
<b>健康・福祉</b>	
<b>健康づくり</b>	
	“健康都市蒲郡”を目指す
	健康づくりへの施策（ウォーキングロードの建設、海岸線・川沿線・山麓線・農道線）の実施
<b>地域医療</b>	
	市民病院の存続と充実が必要
<b>子育て支援</b>	
	結婚して子どもを産み育てていくことに希望が持てる行政
	多胎出産世帯の生活支援など、子育てしやすいまちとしての機能強化
	子どものためにお金を使ってほしい
	子育て世代が安心して子どもを産み、育てられる子育て支援環境、医療、教育、仕事場の充実
	子育て世代が住みたいと思えるまちとして、他の地域に負けないような保育施設の充実
	全ての政策が「子どものため」を思っている事業であること
	遊び場を含め、子ども達の居場所が沢山あること
	赤ちゃん、幼児を安心して遊ばせられる場所（室内、屋外）
	子どものいる家庭にとって利益のあるまちづくり
	子どものいる家庭のために、施設利用、図書館、児童公園、プール等、医療、町内交通（市内循環バス運行エリア拡大）、学校給食の充実
<b>高齢者支援</b>	
	高齢者サービスの充実
	福祉施設の充実
	高齢者の健康寿命を延ばす事業
	スローライフな蒲郡を高齢者に発信し、高齢者のクラブ活動を盛んにしたり、温泉ピクスしたり、ショートステイを導入して、大人の多拠点生活を提案するなど、移住すると面白そうなまちづくり
	高齢者の生きがいづくり
	高齢者を大切にしたいまちづくり
<b>障がい者支援</b>	
	障がい者が安心して暮らせるハード面及びこころのパーフェクトバリアフリー
	障がい者にとって住み良いまちのために、障害（肢体）を持った方の通所施設の整備
<b>その他</b>	
	地域の人々が集まり、笑い声が聞こえる「子ども食堂」のような居場所づくり
<b>産業</b>	
<b>農林業</b>	
	農業に力を入れた安心安全な野菜づくり
	蒲郡特産の農産物や農家への支援
	市民が農業と食に関心を持てる取り組み
<b>工業</b>	
	産業を育成・活発する取り組み
	若い人の市外への流動を止めるような魅力ある産業、雇用を創出できる優良企業の誘致
<b>商業・サービス業</b>	
	市内で買い物をしたり、遊んだり、食事したりできる商業施設（ショッピングモールなど）の充実
	活力と魅力ある蒲郡に向けた大規模な複合施設（ショッピングモール）の建設



多くの人に「住み続けたい」と思われるための取り組み	
	寂れた商業施設の見直し、シャッター通りの有効利用
<b>新産業</b>	
	三谷から豊岡湖までの地域を、景観を生かした各種の研究所、デザイン事務所など、創造的産業の誘致
	産学のビッグネームをつくりあげる。(例えばニデック、愛知工科大を全国区へ)
<b>観光</b>	
	海水浴場の整備
	有名ホテルの誘致
	他のまちから人が集まって来るような、施設、イベント等の充実
	市民に周知され、市民が団結できる楽しいイベント
	若い人たち向けのイベント開催
<b>競艇</b>	
	競艇の今以上の売り上げ強化
<b>雇用</b>	
	安定した収入が得られる雇用の創出
	若者が都心の大学へ行って戻って来られるような仕事、働く場の確保
	活気のある中小企業を多く創出すること
<b>その他</b>	
	産業発展のまちにするのか、農業改革を進めて農産のまちにするのか、近隣の産業城下町(自動車)のリゾート住宅地にするのか、観光地としての再考を図るのか、イノベーションが切望される
<b>都市基盤・安全</b>	
<b>道路</b>	
	狭い道路の拡幅
	アクセスしやすいように、バイパスの整備など、市内の交通渋滞を解消
	渋滞の緩和
<b>公共交通</b>	
	くるりんバスの大規模なものの運行など、市内の公共交通機関の充実
	子育て世代も高齢者も気軽に使用できるバスの充実(バス停の改善)
	市内巡回バスの運行(市内全域をカバー)
	コミュニティバスはもっと運行日数、運行範囲等を増やす
	JR、名鉄での通勤者向けに駅周辺の駐車場の充実
	名鉄電車の利用促進と便数の増加
	高齢者の移動手段として、免許返納者には、バス・タクシーチケット等の配布
<b>市街地整備</b>	
	蒲郡駅北側の再開発。駅前ビル等の老朽化対策と若者が集まる場づくり
	大塚町の宅地開発と農業従事者の募集
	市街化区域を増やし、宅地を安く提供する
	市街化区域内で開発されていない所が多く、人口増加のために、それらの土地での住宅整備に向けた積極的な相談の推進
	職住近接の暮らしや蒲郡市内で居住しながらできるテレワークなどのための諸施設やインフラの整備
<b>住宅</b>	
	空き家を活用した若者の移住促進
	名古屋市への通勤者向けのリゾート型住宅の整備
	子育て世代が親のそばで暮らせるように増築・新築の支援
	住宅の開発による地域の振興
<b>防災</b>	
	危険な空き家の撤去
	災害に強いまちづくり
	蒲郡市は海沿いに民家、商業施設等が集中しているため、市街化調整区域において地震、台風等に強い住宅を建築できるようにする
<b>防犯</b>	
	安全・安心して暮らせるように、歩道整備、街灯の設置、防犯カメラの設置
	治安がよく、安心して暮らせるように、隣近所の助け合い組織の活性化や、不審者が活動しにくい住民による地域の見守りを行う

多くの人に「住み続けたい」と思われるための取り組み	
<b>交通安全</b>	
	交差点改良や歩道が狭い通学路の拡幅、白線が消えかかった道路の改善など、高齢者や子どもが安心して移動できる道路環境の整備
	車イスですれ違えるような歩道の拡幅
	車の安全措置（踏み間違い防止）などへの補助
<b>環境・生活基盤</b>	
<b>公園・緑地</b>	
	公園の充実
<b>循環型社会形成</b>	
	ごみの減量化、リサイクル活動等の一層の推進
<b>下水道</b>	
	下水道の整備
<b>教育・文化</b>	
<b>学校教育</b>	
	子育て世代に来てもらえるように、教育福祉の充実
	学校の統廃合等
	保育園、小学校、中学校、高校、大学、専門学校など、子どもを通わせたいと思える学校づくり
	学校給食の無料化
	子育てから学校教育への一連した教育環境の構築
<b>生涯学習</b>	
	図書館、市民会館等の魅力化、場所の集約化
<b>文化・芸術</b>	
	市民会館等での文化事業の復活
	文化施設の充実
<b>スポーツ</b>	
	スポーツ施設の充実（体育館等）
	夜でも安全に軽い運動ができる場所
	未来の子どもたちのために市民プールの再開。以前あったところに昼夜オールシーズンのプールで、市民が安価に利用できるもの
<b>協働・行財政運営</b>	
<b>市民協働</b>	
	人の繋がりや思いを実現できるまちは離れがたいため、市民のボランティアや市民活動へ積極的な参加
	開発委員会の立ち上げ（48名総代、市議員20名の構成）、優先順位をつけて、蒲郡の発展のための協議・検討を行う
	行政と市民が離れているため、互いにつながりが持てるような取り組みの実施
	総代の仕事を減らさないと、そのうち総代で仕事を受ける人がなくなる
<b>地域コミュニティ</b>	
	地域に勢いと元気な雰囲気が感じられるまちづくり
	子どもから高齢者までの居場所づくり（集会場単位での開催）
<b>男女共同参画</b>	
	女性を含めた委員会等の組織づくり
<b>多文化共生</b>	
	外国人の方が日本人とのふれあい活動に参加できるように、もっと呼びかける
	外国人が安心して暮らせるハード面及びこころのパーフェクトバリアフリー
<b>広報・広聴</b>	
	事業のPRを早めに行い、具体的な取り組み方を見える化して、意見を聞くようにする
	若い人達に意見があっても、実行してくれないと諦めの声が多い
<b>行政</b>	
	日本一を目指す取り組み
	コンパクトな街だからこそできる「包括」的な課題解決の仕組みの構築
<b>財政</b>	
	公共施設のソフト及びハードの充実

多くの人に「住み続けたい」と思われるための取り組み	
	市民会館の建て替え
<b>その他</b>	
	若者の婚活支援
	郷土愛の醸成
	親が子どもを住ませたくなるまちづくり
	子どもや若者が魅力を感じるまちづくり
	人を大切にする、人にやさしいまちづくり
	幅広い世代が交流できる場づくり

問 多くの人に「訪れたい」と思ってもらえるような蒲郡市にするために、市ではどのような取組み（事業など）が必要だと思いますか？

訪れたいと思ってもらえるようにするための取組み（事業）のアイデアについて101団体から回答がありました。

その内容は主に「観光」、「道路」、「港湾・海岸」などに関する内容が多くなっています。

《多くの人に「訪れたい」と思われるための取組み》

多くの人に「訪れたい」と思われるための取組み	
<b>健康・福祉</b>	
<b>子育て支援</b>	
	子育ての充実
<b>産業</b>	
<b>農林業</b>	
	地域の特産品を観光に取り込み、観光地における農産物のPRの促進。ホテル等でも蒲郡の農産物を積極的な活用をする
<b>工業</b>	
	企業誘致に全力で取り組む
<b>商業・サービス業</b>	
	大きな娯楽施設の誘致（映画館が入っているショッピングモールなど）
	竹島水族館近辺の飲食店や売店などの充実
	ミシュランに載るくらいの美味しいお店の立地
	ネット通販で得られない蒲郡の美味しいものを気軽に安く得られる店の立地
	全市あげて観光をバックアップ
	商工会が連携した魅力のあるまちづくり
	散策しながらショッピングできる場づくり
<b>観光</b>	
	観光事業とラグーナが連携し、伝統文化を発信しながら再度訪れたい環境づくり
	ラグーナの行き帰りに寄ってみたい施設の開発
	竹島周辺において、景観をセールスポイントとして楽しめ、入浴、スポーツ、食事、海産物販売などの観光施設の整備充実と多くの人が集まるイベントの開催
	竹島水族館がリニューアルし、広くPRしながら多くの人に、蒲郡を知ってもらう
	クチコミしたくなるような施設、食、交通が整ったまち
	温泉宿泊施設の整備(温泉地の復活)
	竹島・蒲郡駅周辺に蒲郡の特徴を活かした非日常的な空間の演出
	海水浴場の整備
	道の駅として、広い駐車場、公園、トイレ、地元の産業を応援できる直売所等を整備し、のんびり、ゆったり、何もしない場所に
	グリーンセンターを道の駅のようにして、地元の色を出したレストラン（野菜、果物、魚）の整備
	相楽の森などでグランピングやキャンプやバーベキューの出来るところをつくる
	市域1/3を占める山麓を開発し、健康づくりに向けてたウォーキングコース、バイクのオフロードコース等の整備
	自然環境を活用し、海を見ながらのプールなど、安心して自然と遊ぶことができる場の整備
	ラグーナから西浦温泉まで歩行者道の整備、竹島から市民会館の間に水族館、美術館、映画館の整備など
	海や山を利用したスポーツ、スケボー用施設の整備
	健康づくりのため、歴史コースやグルメコースなどの観光スポットなどを巡るウーキングコースの整備
	リピーターを増やす対策として、子連れでも楽しむコースや景色を楽しむコースなどの複数の施設を巡るようなコースの設定

多くの人に「訪れたい」と思われるための取り組み	
「蒲郡とおき日帰りツアーコンテスト」の実施	
海と山と風光明媚な地域を生かしたイベントづくり	
蒲郡に来なければ体験できないこと、楽しくて面白いことを企画する	
観光スポットを活用し、子育て世代が家族で参加したくなるイベントの実施など	
観光のまち蒲郡を前面に出し、アクセス、観光地の整備、イベントの開催	
近所や色々な人々が顔見知りになれるようなイベントを実施	
地元伝わってきたローカルな伝統的な行事、歴史的な祭りをPRし、観光誘致につなげる	
ナビテラスに市民の生き生きした活動の様子がわかるような写真を展示	
[UD トーク]などの最新ソフトウェアの活用、SNSでの情報発信など、外国からの訪問者にも優しいまちづくり	
有名な写真家が蒲郡の写真を撮り、PRする	
地下街ももっと楽しく有効に活用し、楽しく色々ご飯が食べられるようにする	
民間業者の活性化。観光客、関係専門業者の取り組み	
民間専門業者の有効的な活用・指導	
本来もっている市の伝統、文化、自然、景観、歴史、偉人を再認識する	
市民が本市を好きになることから始める住民ファーストの施策や事業を行うべき	
おもてなし	
雇用	
働く場所を作る	
都市基盤・安全	
道路	
国道23号蒲郡バイパスおよび大塚金野線早期完成	
蒲郡駅から竹島までのルートを、観光重点地区として道路交通を検討	
竹島海岸へ続く道路沿線の工夫	
沿線道路等の美化（草刈り、花壇設置）	
蒲郡駅から竹島や竹島水族館に行ける歩道の整備	
港湾・海岸	
竹島埠頭に魅力ある施設や港を活用し、西浦温泉、伊良湖、鳥羽航路への定期船の運行	
三河大島を無人島の楽園（ダイビングやヨット、バナナボート、グランピングなど）にする	
竹島周辺の魅力づくりとして、海や砂浜で遊べる「なぎさ」の整備	
海を活かしたイベント（ヨットやいかだレース）、競艇場で水上ライブ	
富裕層に対する娯楽施設として、既存の競艇場を活かした統合型リゾート（IR）の計画	
海洋レクリエーション施設の整備	
環境・生活基盤	
公園・緑地	
家族連れがゆっくり時間を過ごせる公園の充実	
近隣から訪れたいくなるような遊具の充実した公園	
環境保全	
小中高等による大島のごみ拾いボランティアの推進	
ゴミのない、雑草が生えていない、キレイなまちに	
教育・文化	
文化・芸術	
音楽、芸能の催事の実施	
歴史のあるまちとして、上之郷城跡の整備とPR	
文化施設の充実	
スポーツ	
スポーツ施設の集約によると全国（世界）レベルの大会が開催できる施設の整備	
協働・行財政運営	
市民協働	
蒲郡を楽しんでいる市民をプレゼンターとして協働で戦略を立て、発信する	
ワークショップを通じて考えていきたい	
広報・広聴	
全国の市町村の成功事例を参考に、創意工夫して魅力ある蒲郡をつくる。	

多くの人に「訪れたい」と思われるための取り組み	
	若者、有識者の意見をどしどし聞き入れる
<b>財政</b>	
	財政力の強化
<b>その他</b>	
	市民が自慢できるようなネタづくり
	まちの魅力を、総力をあげて応援する取り組み

#### (4) まちづくりへの自由提案などについて

問 その他、蒲郡市のまちづくりについて、ご提案がありましたら自由にご記入ください。

その他の提案について、85 団体から回答がありました。

その内容は主に「観光」、「市民協働」、「行政」などに関する内容が多くなっています。

#### 《まちづくりへの自由提案》

自由記入	
<b>健康・福祉</b>	
<b>健康づくり</b>	
	健康づくり施策の充実
	健康都市蒲郡の推進
<b>子育て支援</b>	
	若い子育て世代の定住化に向けての取り組みを積極的に推進
	安心して子育てできる子育て支援、
<b>高齢者支援</b>	
	健康な高齢者を増やす努力、維持が重要
	市が敬老会を主催する、または費用を負担する
	温泉街の復活させ、老人が住みやすい施設を充実
<b>障がい者支援</b>	
	障がい者にとって、市の建物及び道路のバリアフリーの整備が大事
	子どもから高齢者、聞こえない人のために、公共機関の全てに文字情報電子版の設置
<b>産業</b>	
<b>農業</b>	
	農業の振興
	遊休地の利用促進。放置田畑の整備
	食農・援農など、市民が農に触れる機会を増やし、農による心身の健康、愛着心の醸成を行う
<b>工業</b>	
	AIの企業誘致
	柏原町に企業用地を5カ所くらい造成し企業誘致を促進
<b>商業・サービス業</b>	
	SDGS を考えたフェアトレードタウンの形成
	商業施設（ショッピングモール）によるまちづくり
<b>新産業</b>	
	海洋資源を活用する官民間学研究機関の誘致
<b>観光</b>	
	生命の海科学館を水族館に変える
	三谷温泉に新しい観光施設の誘致
	海岸線に大塚から西浦までの遊歩道を設置し、トライアスロンなどのイベントの開催
	競艇場を駐車場にし、そこからシャトルバスで、山側、海側の道の駅、海を利用したスポーツ、山を利用した遊びなどを楽しめるようにする
	現在のナンバーワンをアピールし、全国に「ガマイズム」を定着させる
	ソフトバンクの千賀投手のアピール強化
	ゆるキャラをつくる
	官民が一体になって観光イベント等を連携させ、市民の参加しやすいようにする
	今あるもの、古くからあるものを活かし、見直すことから始める
	国道 23 号蒲郡バイパスが完成した場合、蒲郡市は通過点となる可能性があるため、蒲郡に立ち寄る方策が必要
	世界の老人型観光都市として、ラグーナ、市民病院、コンビニ、スーパー、図書館、文化広場、スポーツ施設、温泉、老人が集まる集会場等が併設したまちづくり



自由記入	
	自然風景を徹底的に活かした一戸建てを中心とするお洒落なまちなみで、観光客が観光バスから見て「住んでみたい」と感じるまちづくり
<b>雇用</b>	
	蒲郡で働き、蒲郡で不便なく暮らせるまち
<b>都市基盤・安全</b>	
<b>道路</b>	
	国道 23 号バイパス、国道 247 号などの道路整備
	舗装のデコボコ、車道と歩道との段差の解消
	長沢トンネルの渋滞解消
	蒲郡駅北東交差点や小学校への通学路など、車イスが通りづらいところがあるため、障がい者の視点からもまちづくりが必要
	道路や河川敷などに草が多いため、ヤギを飼って草を食べさせてはどうか
<b>公共交通</b>	
	名鉄本線との接続
	コミュニティバスの充実
<b>市街地整備</b>	
	市街化区域を増やし、遊休農地を解消し、眺望の良い安価な住宅地の供給
	JR 東海道本線の南側（塩津駅から三谷駅）に商業施設や観光施設、娯楽施設の集約
	観光エリアと居住エリアを区分して、整備が必要
<b>住宅</b>	
	蒲郡は住む環境としては素晴らしいため、新たな住民を受け入れることを促進する
	老人が災害の危険もなく安心して住める、老人型都市の構築
	古民家や廃屋の有効利用
	家賃補助などをして、豊橋や名古屋のベッドタウンとして若い人の入居を促進
<b>港湾・海岸</b>	
	港の活用
<b>防災</b>	
	めざせ！「健康」と「防災」のまち
	防災会議の市内版の立ち上げ
	自主的な地域防災活動の実施
	防災対策と景観対策として、電線の地中化などの事業を実施
	災害に強いまちづくり
	障がい者用の避難所の確保
	自主防災活動のために一人暮らし高齢者、75 歳以上の夫婦世帯、障がい者世帯の情報提供
<b>交通安全</b>	
	交通安全に向け、道路の白線の改善
<b>環境・生活基盤</b>	
<b>公園・緑地</b>	
	みんなが楽しめる大きな公園の整備
<b>自然保護・緑化</b>	
	自然環境を活用したスマートシティ化構想の企画
<b>環境保全</b>	
	市民と行政が連携し、環境意識の高いまちづくりの推進
<b>環境衛生</b>	
	外国人のごみ問題の解決のため、外国人に対するマナー教育の実施
<b>地域温暖化対策</b>	
	太陽光発電の好適地としての推進
<b>教育・文化</b>	
<b>学校教育</b>	
	学区と行政区の矛盾の解消
	20 校の学校を小中一貫校として 7 校に統合し、他の 13 校を地域の交流センター、社会教育センター、図書館などの公共施設として再利用
	蒲郡市は宿題なしにする



自由記入	
<b>生涯学習</b>	
	図書館をはじめ、公共施設の整備
	娯楽施設と教養・教育施設が集合しているような場所の整備
	市民会館、図書館、体育館を一カ所に集約化
<b>文化・芸術</b>	
	蒲郡市民会館の活用
	蒲郡の伝統的な職業の体験
<b>スポーツ</b>	
	競艇場南での新体育館の建設
	スポーツツーリズムの推進
<b>協働・行財政運営</b>	
<b>市民協働</b>	
	「ボランティアネットがまごおり」のコーディネーター力不足
	市職員の月1時間のボランティア活動の実施
	担い手不足の市民活動団体やボランティア団体の集約化や法人化を支援するなど、継続できる仕組みづくりの実施
	行政と市民の協働によるまちづくりの推進
	行政主体から、住民主体の自治体運営
	市の政策に活かすため、湾岸都市会議の開催による情報交換
	まちづくりについての意見が言える場、話し合える場の確保
<b>地域コミュニティ</b>	
	将来の地域役員の予備軍育成のため、市職員のプロボノ教育の実施
	「関係人口」を増やし、地域の活性化と将来の移住につなげる
	人づくりとコミュニケーションの推進
	蒲郡市民憲章の実践活動（市職員の率先行動）
<b>広報・広聴</b>	
	蒲郡市民全体での意見の収集・発信を行う
	市職員と市民、市民活動団体との対話による信頼関係の構築
	若者や女性の意見を提案・意見交換、検討できる場の設置
<b>行政</b>	
	地域住民が市役所も頑張ってくれていると思ってくるような幅広い発想
	反対はあったとしても、大胆に変える強引な姿勢が必要
	晩婚化により未婚の男女が多いため、市主催の出会いの場所づくりによる定住施策
	若い人に住んでもらえるような施策の実施
	市職員と議員の定数検討、地元職員の増加
<b>財政</b>	
	ふるさと納税（商品販売促進事業）の継続
<b>その他</b>	
	若者の郷土愛の醸成
	子どもたちが市外、県外に出ず、また戻って来れる若い人が増えるまちづくり